

グリーンピース

社会福祉法人 時の会

Vol. 78

2014. 6. 10発行

発行：社会福祉法人時の会

編集：GP工房編集部

Tel/Fax 042-389-6339

季節は早くも夏、長雨の候を迎えました。じっとりと肌にまとわりつく暑さに、まだ身体も不慣れです。皆さま体調管理を万全に、くれぐれもご自愛ください。

さて、新年度を迎え早々、4月には初ましく緊張気味だった新利用者の皆さんも、ひとまわりの頼もしくなったように見受けられます。

そのような中、今年度の新規事業として、5月中旬、落合4丁目の一室に第2分室を開所いたしました。

準備期間の短い中、少しずつ第2分室のイメージが出来上がってきたのは、4月中旬のこと。

中心となる作業は紙すきです。

和紙製品を製菓事業の中で活用していく

この2つの基本方針が固まってからは、急ピッチで利用者様の受け入準備をすめ、5月16日より本格的に第2分室での活動をスタートさせました。初日は新しい職場と初めての紙すき作業に皆さん興味津々のご様子、また、ゆったりと落ち着いた雰囲気を感じてくれる空間は大変好評でした。

現在は、4・5名の利用者様と2名の職員が紙すき作業を行っています。

手すき和紙の出来栄えは想像以上のもの。早速、具体的に



商品に活用していくことが検討され、詰め合せ贈答品「多摩のよこやま」が誕生しました。



箱と焼き菓子の掛け紙、商品の説明書きに、手すき和紙を使用しました。

第2分室の活動は、私たちが自信と誇りを持って作り続けてきた焼き菓子に、付加価値を加え、お客様にご満足いただける商品をお届けするための新たな取り組みです。手すき和紙の掛け紙をパッケージに付けることで、温かな風合いが加味され、クッキーが一段と引き立って見えます。製菓部門だけでは対応しきれなかったパッケージや贈答品の改良・開発において、第2分室が果たす役割は大きいことでしょう。

常に新しいことに目を向け、より良いものを作っていくとする姿勢を、私たちは持ち続けていきたいと思っています。それが利用者様の自立と誇りを支えることに他ならないと考えるからです。

お客様に選んでいただける魅力ある商品です。

そのための更なる一歩を踏み出して参ります。

(岡崎)

ぐりーんぴーすの新年度が 始まりました

今年2月は2週に渡って大雪に見舞われたが、3月に入りようやく春らしく気温も上がり始めました。桜の花が満開を迎えた4月1日、当事業所に於いても平成26年度の入所式が行なわれ、新年度がスタートしました。

都立多摩桜の丘学園高等部を卒業された男女3名の方を迎え、利用者総勢30名となりました。在学中の2週間に及び実習を重ねた結果、卒業後の進路として数ある事業所の中からぐりーんぴーす工房を選んで下さったことに感謝の気持ちでいっぱいです。同時に事業所の社会的役割と責任の重さを感じずにはいられませんでした。

以下に当日の様子をご報告致します。

・実施日 4月1日（火）

午前10時30分～12時30分

・実施場所 落合集会所

・参加者 新利用者(3名)保護者(3名)

理事長・パル代表・来賓(1名)

利用者(23名) 職員(15名)



当日朝、全員が普段とは違った服装で出勤、ネクタイを締めた先輩利用者の皆さんはとても恰好良く、式に臨む姿勢がありありと伝わってきました。会場設営では、みんなで作った入所式ポスターの掲示や飾り付け等、チームで作業を分担して取り組みました。皆さんの力は大きくあつという間に準備を整え、新利用者を迎えることが出来ました。式は二部形式で実施、第一部では大勢が見守る中、新利用者が一人一人紹介され、白衣・エプロン・身分証明書などの贈呈、理事長・来賓のご挨拶、花束贈呈がありました。先輩利用者さんから綺麗な花束を受け取ると、会場にもとびきりの笑顔の花が咲いていました。

第二部では軽食を取りながら懇談、職員・先輩方の自己紹介とお祝いの言葉の後、「ぐりーんぴーす工房の歌」を全員で合唱、美声で新利用者を歓迎しました。新利用者の皆さんも始めは緊張した面持ちでしたが、第二



部での先輩たちからの一言には、リラックスしている様子が見られました。しかし、卒業高である多摩桜の丘学園の先生から、お祝いの言葉をいただいた時

の表情には、「今日から社会人になる」という緊張感がひしひしと感じられました。利用者の皆さんからは「仕事は自分のためにするのです」、「これから一緒に頑張りましょう」、「クッキー一緒に作ろうね」、「旅行に一緒に行こう」等、様々な励ましの言葉がありました。私たち職員も同様に、利用者・保護者の皆さまが「やっぱりぐりーんぴーす工房にして良かった」と思えるような施設づくりにより、一層の努力を積み重ねる気持ち強く持ちました。

新利用者の皆さん！一緒に頑張ってくださいいきましょう！

今後に期待しています。

(秋田)



近況報告

たまげんきとは？

多摩市内の障がい福祉施設等が連携して共同で受注・販売・開発を行い、利用者様の工賃（給料）向上を目指す目的で結成した団体です。障がいがあっても、地域で当たり前に、

活き活きと豊かに暮らせる

環境づくりを目指して活動しています。そんなたまげんきの最近の活動としては、3月から1か月間、ゴミカレンダーと多摩市医師会パンフレットの配布（ポスティング作業）と、の落合商店街フリーマーケット（4月19日開催）でのたまげんきキャラバンとして出店があります。

まず、ゴミカレンダー・多摩市医師会パンフレットの配布ですが、多摩市のごみ対策課より2011年秋にエコリサイクル情報誌ACTAの配布依頼を初めて受けて以来、年



に2回、ゴミカレンダーとACTAのポスティング作業を行っています。

多摩市から依頼を受けている重要な配布物のため、配布をする際には、身分を明らかにするために、腕章と配布従事者証をしっかりと身に付けています。

作業はただ配るだけではなく、配布漏れがないよう地図上にチェックを入れながら一部一部丁寧に配布しました。利用者さんも日を追い回数を重ねるたびに早く正確に配布できるようになりました。

重たい荷物を持って配布をしているにも関わらず、またエリアによっては急な坂やポストが分かりにくい建物があったりしたので、そんな苦労を物ともせず、雨が降ろうが風が強かろうが気合を入れて配布を下さいました。今まで何気なく見ていたゴミ



ミカレンダーですが、我々が配布した物が市民の生活の中で役立っているのだと思うと嬉しく思い、今後も一層高いモチベーションで作業に従事したいと思っています。



ましたが、皆さんの日頃の行いが良いせいか？無事に行う事が出来ました。

今回参加して、年々商店街に足を運んでくださるお客様が増えているように感じました。事前にチラシを配布したり、過去3回のフリーマーケットを覚えていて下さったお客様がいたりしていて徐々に地域に根付き始めてきている事を実感できました。ぐりんぴー工房では揚げたご焼きとお汁粉を販売しました。今後も地域の模擬店に出店する際は、色々な商品を販売して行けたらと思います。（高松）



落合商店街フリーマーケットには、2011年から参加をするようになり今回で4回目の活動となりました。前日まで天候が不安定で開催が危ぶまれてい

行ってきました！

箱根の旅



2月26日から28日の二泊三日、箱根方面の旅行に行ってきました。旅行の前は多摩市も大雪が降った事で天候が非常に心配されましたが、曇りがちで雨がパラつく場面もあったものの、まずまずの天気で無事旅行を楽しむことが出来ました。

26日、まだまだ残雪が残っている多摩センターを出発しました。バスは神奈川県から山梨県に入った辺りで、東京とは比較にならない程の残雪の深さに驚きつつ、最初に着いたのは山梨リニア見学センターです。一部施設が閉鎖されていたのが残念でしたが、将来、多摩市から近い橋本駅を通過する予定のリニア新幹線の模型やジオラマに、興味津々で見学しました。お昼は、みはらし亭にて、



はつとつを食べ、何でも鑑定団にて有名な北原照久さんの運営する河口湖北原ミュージアムへ。当初は遊覧船に乗る予定でしたが、雪の影響により2月いっぱい

は運休となりましたので、北原ミュージアムへと変更となりました。館内はアンティークなおもちゃやレトロなポスターなどビッシリ。幅広い世代が懐かしいと感じるであろうコルクシヨンに皆さん目を奪われていた。

そして、二泊宿泊する箱根高原ホテルへ。温泉にゆつくり浸った後、宴会場で会席料理を食べ、



一日の振り返りと翌日の予定を確認するミーティングを行って、1日目が終了。

二日目の朝はバイキングでスタート。食べ過ぎに注意して食事を済ませ、富士サファリパークへ。サファリパークへはバスに乗ったままで園内に入り見学しました。

一昨年訪れた際には、あまり動物に元気が無く動きが少なかったのですが、今回は小雨が降っていたものの、比較的暖かったので動物がよく動いており、ゾウやキリンの



大きさに驚いた

り、ライオンやトラの勇猛な姿、活動的な様子が観察できました。サファリパーク内で食事をし、お土産などを購入して、サファリパークを後にしました。

バスでの移動中はカラオケ。前日の疲れを感じさせない元気で盛り上がり、楽しみつつ、箱根高原ホテルへ戻りました。ホテルへ戻ってからは温泉に入って宴会場で食事、ミーティング後にはそのまま宴会場

で第二弾のカラオケを行いました。互いにマイクを譲り合い、トラブルも無くスムーズにカラオケを楽しむと、皆さんスッカリ疲れた様子で、その日は早めの就寝となりました。

そしていよいよ最終日。

三日目は見事快晴！朝食は本日もバイキングでした。食事を済ませた後に箱根高原ホテルの方々にお礼を言って記念撮影。ホテルを出てバスの向かった先は箱根園です。

様々な

形状をした魚の美しい姿に見惚れ、アザラシシヨーではアザラシの人懐っこい姿に家でも飼いたい！なんて意見も出たりしました。



ショーの終了後は箱根園内のワストランなかなかまでにて釜飯を食べました。箱根園が最後の見学となるので、お土産の購入を忘れずバスに乗り込み、帰路につきました。バスの中ではまだまだ元気な人も居ましたが、さすがに3日間の疲れが出てきたのかウトウトとする人、熟睡する人が多くなっていました。2時間ほど高速道路を走り、町田市内に入った辺りから、徐々に見慣れた景色が多くなり、多摩市へと近づいていると分かると思っていた方も起き始め、無事多摩センターへ到着しました。

予定よりも1時間程度も早い帰宅時間となりましたが、大きな事故やトラブルも無く円滑に旅行を楽しむ事ができました。来年もこのように楽しい旅行を実行できるように計画していきたいと思えますので、どうぞよろしくお願いします。

(関河)



新入職員の紹介

昨年十月に入職しました木内絢子（きうち あやこ）です。

全てが未経験の私にとって、この半年間は学びと楽しさの連続でした。至らぬ点は多々あると思いますが、経験豊かな先輩達に教えていただきながら、利用者の皆様が毎日楽しく過ごして、やりがいを持って働けるようにお手伝いをしていけたらと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



新入職員の住啓二郎（すみけいじろう）と申します。

五月一日付で正職員として働かせていただいております。趣味はサッカー、音楽ライブ鑑賞です。この環境の良い多摩で、利用者の皆さんにのびのびと充実感、達成感を持って、仕事をしたいと思っています。支援していきたいと思っております。よろしくお願いします。

